

市民に気軽な科学講義



スライドなどを使って科学の講義をするサイエンスステーションのメンバー

市民が気軽に科学を学べる場をつくらうと、松江北高校は二十三日、松江ホテルサ(同市朝日町)で、喫茶などを楽しみながら科学の講義を受ける「サイエンスカフェ」を開いた。

創立百三十周年を迎えた同校の記念事業。東京大学などで天文学を学ぶ学生やOBでつくるNPO法人「サイエンスステーション」が招かれ、木星の衛星や身の回りで生きる科学をテーマに三講義を開いた。

木星の衛星「イオ」についての講義では「イオには太陽系で最も活発な火山が

ある」と紹介。

市民から「なぜ」の質問が飛ぶと、スライドを使い木星の引力との関係などを挙げて説明。市民との対話を交えながら講義は進んだ。

訪れた島根大学四年の山本拓之さん(22)は「質問したいことがその場で質問でき普通の講義よりも面白い」と熱心にメモをとっていた。

江高 松北 サイエンスカフェ開店

十月二十一日は、ナノテクノロジーや宇宙人をテーマに松江市殿町のカラコロ工房で開設する。問い合わせ先は同校(電話0852・21・40000)。